note株式会社
2026年11月11日

note、Webページの表示を支える仕組みを刷新
記事をより速く表示し快適に読めるように



noteは、Webサービスを支えるフロントエンドのアーキテクチャを刷新しました。
読者がより速く、快適に記事を読める環境を整えました。また、Googleなどの検索エンジンを通じて、記事がより多くの読者に届くことも期待しています。

今回の刷新では、Googleの協力を得ながら、検索エンジンによる記事の認識やページの表示速度、アクセシビリティなどを確認し、移行を進めました。

なお、noteとGoogleは、2025年1月に資本業務提携を締結しています。

表示の速さと、読みやすさの改善

noteでは、記事の表示速度や画面の読みやすさ、使いやすさなど、日々さまざまな改善を重ねています。今回のフロントエンドのアーキテクチャ刷新も、こうした取り組みの一環です。

なかでも記事ページは、noteでもっとも多くの人が訪れるページです。今回の刷新では、読者の体験を損なわず、検索エンジンからも適切に認識される状態を維持することを重視しました。

移行にあたっては、Googleの協力を得て、テストを重ねながら品質を確認。新しいページが検索エンジンから適切に認識されているか、表示速度やアクセシビリティなどに改善の余地がないかを、ひとつずつ確かめながら進めました。
noteの記事ページは、もともと表示速度が速いページでしたが、今回の刷新によってさらに改善しました。もっとも改善幅が大きかった記事では、表示が約24%速くなっています。あわせて、アクセシビリティの評価も向上しました。

新しい基盤の設計・構築には、GoogleがWeb開発者向けに公開している「Modern Web Guidance」も参考にしました。これは、Webサイトの品質を高めるための技術的な推奨事項やベストプラクティスをまとめたものです。
https://developer.chrome.com/docs/modern-web-guidance

今回のnoteの取り組みは、Googleのサイトにケーススタディとして掲載されています。
https://developer.chrome.com/blog/mwg-with-internal-component

今後も、クリエイターの作品がより多くの人に届き、読者が快適に記事を楽しめるサービスをめざして、改善を続けていきます。

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約8993万件の作品が誕生。会員数は1313万人（2026年8月末時点）に達しています。

- URL：https://note.com/
- iOSアプリ：https://apps.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110
- Androidアプリ：https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援をうけたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083　東京都千代田区麹町6-6-2　設立日：2011年12月8日
代表取締役CEO：加藤貞顕　コーポレートサイト：https://note.jp

【本件に関するお問い合わせ先】
note株式会社　IRお問い合わせ窓口：https://ir.note.jp/inquiry